

「日吉メディアセンターの 情報リテラシーセミナーへのフィードバック」

さけみ かよ
酒見 佳世

(日吉メディアセンター主任)

かわもとまりこ
川本真梨子

(日吉メディアセンター)

1 はじめに

日吉メディアセンターによる最近の情報リテラシー教育の取り組みについては昨年報告している¹⁾。本稿ではその後に開始した情報リテラシーセミナー（以下、セミナー）への教員および学生からのフィードバックについて報告する。依頼者（教員）、受講者（学生）のニーズに応じて、その内容を更新していくことは情報リテラシー教育を行う上では必要不可欠である。絶えず変化する学生の情報探索行動に沿う情報リテラシー教育とはどんなものか、教員・学生のフィードバックから探ってみたい。

2 教員からのフィードバック

教員からフィードバックを得る取り組みはオンデマンドのセミナーを実施した授業の担当教員を対象に、2013年度春学期より実施している。2013年度は32回のセミナー、計20名、2014年度は、前年度と同じ教員も含め2014年7月1日現在24回のセミナー、計17名（内6名が新規）の教員より意見をいただいている。

フィードバックの方法としては、授業終了後メールにて、「1. 説明を省略してもよいと感じた点」「2. より詳しい説明が必要だと感じた点」「3. 説明があつて特によかったと感じた点」「4. セミナーで説明がなかったが、内容に加えてほしかった点」について回答いただくよう依頼する形式をとっている。後述する学生へのアンケートと異なり、指標を用いたアンケートではないため、上記4項目に限らず、自由に意見をくださる教員も多かった。

3 教員のフィードバックから得られる考察と課題

寄せられた回答を細かに分類することはできない

が、概ね「セミナーの内容についての意見」と「セミナーの形式についての意見」の2つに集約される。

「内容についての意見」は実際に行ったセミナーの内容に対し、気づいた点を上記の1～4の項目ごとに言及したものである。傾向としては「3. 説明があつて特によかったと感じた点」について、特に多くのフィードバックが寄せられている。複数の教員からあげられた点には「検索エンジンとデータベースの検索結果の違い」、「検索式を利用したテクニックについて」などがある。一度の検索で、すぐに情報検索の手を止めてしまう学生は多い。そのため、必要な情報に早く確実に辿り着くための検索スキル習得を支援することが求められている。また、セミナーでは「図書の探し方」「論文の探し方」などの項目ごとに教員からの申し込みを受け付けているが、各項目の設定自体は概ね満足されているといえる。

「形式についての意見」は現在のセミナーの形式に対するフィードバックである。「4. セミナーで説明がなかったが、内容に加えてほしかった点」とともに言及されることが多かった。もっとも多かった意見は、説明をより個々の授業にあわせてアレンジして実施してほしいというものである。2013年度は20名中11名、2014年度は17名中6名の教員より、受講者の構成や授業テーマを加味した具体的な要望があげられている。また、PCを操作する実習をより増やしてほしい、セミナーごとに課題や目標を設定したほうがよいという意見も数名からあげられた。

セミナーは、例年ほぼ同じ授業科目、同じ教員からの申し込みとなるため、フィードバックを重ねることで、授業テーマにあわせて内容や教員の希望を含んだセミナーの構成が可能となる。ただし同じ授

業からの申し込みであっても、毎年受講生の学部学年の構成比は変わり、扱うテーマも変更されている場合がある。前年の指摘をそのまま組み込むだけではなく、事前に教員と職員間の打ち合わせを重ね、授業に関する情報や教員の希望を知ることで、教員のみならずセミナーに対する学生の満足度、そして理解度を高めることへ繋がると考えられる。

4 学生からのフィードバック

学生からのフィードバックについては2013年の秋学期から開始した。授業時にアンケートを配布し、その場で回収する形式をとっている。アンケートでは難易度、説明量、満足度という指標を設け、それぞれ5段階で評価してもらい、加えて授業内容に関する要望、感想などを聞いている。表1は2013年秋学期と2014年春学期に回収した全てのアンケートの難易度、説明量、満足度についての評価の平均値を示したものであるが、特に学期ごとに値の変化は見られなかった。

表1 全回答の平均値

	難易度	説明量	満足度
2013秋 (722枚)	3.0	3.3	3.8
2014春 (1,228枚)	3.0	3.3	3.8

※それぞれ5段階で評価。難易度は1が易しく、5が難しい。説明量は1が少なく、5が多い。満足度は1が不満、5が満足。

表2は授業別の満足度を比較したもののだが、こちらも秋と春で大きな変化は見られない。2013年秋、2014年春ともに、最も満足度が高かったのはオンデマンドのセミナーであった。

表2 授業別の満足度

	理工学概論 (1年生)	商学部情報リテラシー基礎	法学I (1年生)	法学情報処理 (2年生)	オンデマンドのセミナー
2013秋	3.6	3.6	—	3.9	4.2
2014春	3.5	3.6	3.9	—	4.2

※オンデマンドのセミナー以外は固定授業の1コマとして実施

2014年春学期のアンケートについて、もう少し詳しく取り上げる。授業内容別²⁾にみると、固定授業の中で実施したセミナーでは説明があつてよかった内容として「KOSMOSの使い方」³⁾が多くあげられているのに対して、オンデマンドのセミナーの場合は「雑誌論文の探し方」が多い。一方、省略してよい内容としては「日吉図書館について」、「館内ツアー」など既に知っていると思われる内容が多くあげられた。また、今後説明に加えてほしい内容としては「引用と参考文献の書き方」が多く、特にオンデマンドのセミナーの受講者に必要だと感じている人が多いことが分かった。

表3 2014年春学期の学年別平均値

	難易度	説明量	満足度
1年生 (931枚)	3.0	3.3	3.8
2年生以上 (290枚)	2.9	3.3	4.0

表3は2014年度春学期の評価の平均値を学年別に見たものだが、2年生以上になると難易度はわずかながら下がり、満足度が上がっている。よかった内容として1年生は「KOSMOSの使い方」を最も多くあげているのに対して、2年生以上では「雑誌論文の探し方」が最も多く、学年によってニーズに違いが見られた。

5 学生フィードバックから得られる考察と課題

アンケートを見ていると、同じ授業内でも、学生が感じる難易度には幅があるように思われる。学部1、2年生が属する日吉キャンパスの場合、大学に入る以前の経験が大きく影響するようである。

オンデマンドのセミナーの場合は、少人数で授業の前後で必然的に資料を探さなければならない流れがあるためか、概ね満足度が高い。一方、固定授業は多人数で学生側のタイミングやニーズと合致する確率が低くなるためか満足度も低い傾向にある。表1では学期による満足度の変化は見られなかったが、「その他」の感想をみるとセミナーを受ける時期について、「もっと早い時期に聞きたかった」というものがいくつか見られた。

固定授業においては、授業の実施時期をこちらで

自由に設定することは難しいが、内容については改善の余地がある。「情報リテラシー」といっても実質的には資料の探し方が主であるため、資料を探す意味、探索に至る前の流れから探索後の情報の選び方や使い方まで、授業内で使用する課題の内容を含めて準備の段階である程度疑似的な流れを作り出す必要があるだろう。

学生によっては履修した授業の関係で、複数回セミナーを受講することになる場合があるため、各授業でその学部やテーマに合わせた内容を準備するように配慮する必要がある。受講者の学年によっても求められる内容が異なるため、今後は授業の前に履修者の学年、セミナーの場合は学生が個別にテーマを持っているかどうかの確認を行う予定である。

6 終わりに

学生からの意見に、「授業を配信して自由にみられるようにしてほしい」というものがあった。既に、「情報リテラシー」習得のためのウェブチュートリアルである「KITIE」⁴⁾や「PATH」⁵⁾、教養研究センターによる「はじめてのアカデミック・スキルズ10分講義シリーズ」⁶⁾などが提供されているが、それらが上手く活用されているとは言い難い状況である。今後、学生が必要なときにいつでも参照できるような資料や教材の整理、提供についても教員や学生のフィードバックを参考にしながら取り組んで行きたい。

注

- 1) 柴田由紀子, 杉真梨子. 日吉メディアセンター2012~2013年情報リテラシー教育 (ILP) の取り組み. MediaNet, 2013, no.20, p.35-37
- 2) 授業の内容については注1)を参照のこと。
- 3) KOSMOSは慶應義塾大学の蔵書検索システムである。
<http://kosmos.lib.keio.ac.jp/>
- 4) 日吉メディアセンター. “KITIE”. <http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/>, (参照2014-08-19).
- 5) 日吉メディアセンター. “PATH”. <http://project.lib.keio.ac.jp/PATH/>, (参照2014-08-19).
- 6) 教養研究センター. “はじめてのアカデミック・スキルズ10分講義シリーズ”. <http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/education/culture/academic.php#movies>, (参照 2014-08-19)